

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	145	健康づくり行動計画の策定					
章	1	健康でおもいやりのあるまち					
大項目	01	心と体の健康づくり					
施策	01	生涯を通じた心と体の健康づくり					
事業内容							
目的	「健康日本21」の円滑な推進を促すための市町村健康増進計画として、平成15年に策定した前期5か年の「新宿区健康づくり行動計画」を見直し、「心身ともに健やかにらせるまち」の実現に向けた平成20年度からの後期4か年計画を策定します。						
対象・手段	計画案作成に先立ち、区民の健康に関するアンケート調査を行い、現状を分析し課題を把握します。また、公募区民、学識経験者等、地域団体の代表等からなる「新宿区健康づくり行動計画推進協議会(以下、協議会という。)」を設置し、計画案を検討していくとともに、地域説明会及びパブリックコメントを実施することで、区民ニーズを計画に反映させていきます。						
成果(事業が意図する成果)							
平成19年2月に実施した「新宿区健康づくり区民意識調査」及び平成19年8月に実施する「新宿区立学校における食育アンケート」により、区民の健康に関する現状を分析し課題を把握します。調査結果をふまえたうえで、区の健康づくり施策の指針となる「新宿区健康づくり行動計画」を策定し、「生活習慣病の予防」「食育の推進」「心の健康づくり」の3つの重点項目に係る施策を総合的、効果的に推進することができます。							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
健康づくり行動計画推進協議会の開催		区民委員5名、学識経験者等・地域団体の代表等10名からなる協議会の開催回数			(平成19年度に) (8回)の水準達成		
健康づくり行動計画中間のまとめ地域説明会の開催		健康づくり行動計画中間のまとめ地域説明会の開催回数(4つの保健センターで開催)			(平成19年度に) (4回)の水準達成		
					()年度に ()の水準達成		
成果の達成状況							
		単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考
事業成果指標	目標値1		0.00	0.00	0.00	8.00	
	実績1		0.00	0.00	0.00	8.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	100.00	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	4.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	4.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	100.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度							
平成19年度	協議会を8回開催し、計画を策定しました。また、パブリックコメントを実施し、地域説明会を開催することで、ご意見をいただき、区民の声を計画に反映しました。						

部名称		健康部		課名称		健康推進課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	0	0	0	7,230	
	人件費	千円	0	0	0	4,956	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	0	0	0	12,186	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	0	0	0	12,186	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	0	0	12,186	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	0.00	0.00	0.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.00	0.60	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>計画に基づく施策の実施状況を把握し、進行管理をしていく中で必要があれば目標や指標を見直していくこととなります。また、次期計画策定に向けた体制整備を行っていく必要があります。</p>							
評価基準に基づく評価と理由	達成度	3	委員会及び協議会を各8回開催する中で、現状や課題の整理、骨子案の検討、計画案の作成、パブリックコメントの実施を順調に進め、計画を策定することができました。				
	実施の成果	3	本計画に基づき、「生活習慣病の予防」「食育の推進」「心の健康づくり」の3つの重点項目に係る施策を総合的、効果的に推進することができます。				
	効率性	3	協議会の運営や中間のまとめ、計画書の印刷に要した人員、費用、事務作業は、ほぼ効率的なものでした。				
	行政の関与	3	計画を策定するにあたっては、現状の把握と課題の分析を的確に行うことが必要です。また、区民の意見を反映させながら、実効性のある計画を策定するためには、区が行うことが妥当であると考えます。				
	妥当性	3	推進協議会、地域説明会の開催回数を目標にしたことは、区民ニーズを計画に反映させるためであり、妥当といえます。				
	施策寄与度	3	区の健康づくり施策に関する今後の目標や、目標を達成するために取り組むべき課題を明確に示すことができた点で、大いに寄与したといえます。				
総合評価	「生活習慣病の予防」「食育の推進」「心の健康づくり」の3つの健康づくりに関する重点項目の現状及び課題を整理し、区民の意見を反映した、区の健康づくり施策の指針となる計画を策定することができました。						B
							過年度評価 18年度 17年度 16年度 15年度
改革方針	計画に基づく施策の実施状況や達成度を評価するため、区民・有識者等からなる新宿区健康づくり行動計画推進協議会を設立し、目標や指標を見直していきます。また、これからの計画推進には「地域ぐるみの健康づくり」が不可欠であり、地域や家庭、関係団体との協働を一層推進していきます。次期計画策定に向けた体制についても、整備を行っていきます。						方向性
	<p>なお、平成19年度の事業だった「健康づくり行動計画の策定」は終了し、平成20年度からは経常事業「健康づくり行動計画の推進」を実施します。</p>						6 休廃止